

若者の地方体験交流 募集概要

となみし
富山県砺波市 (人口：47,599人)

体験種目：暮らし・イベント体験



大学生の皆さん、ちょっと、砺波に来られまー。
ごっつおだいてあげるし、いーとこ連れてってあげっちゃ。
一緒に楽しもまいけ。待っつっちゃ！

(体験内容等)

大学ゼミ合宿などを支援します。方言調査が特にオススメ！（対象の話者として経験のある地元住人を紹介できます。）

○散居村の伝統的家屋【砺波暮らし体験施設 佐々木邸】で宿泊し、全国的にも珍しい散居景観も学べます。

○伝統的な暮らしや文化を体験できます。（報恩講で出された伝承料理、地域住人との交流【B B Qや餅つきなど】）

(受入期間) 通年（年末年始除く。）※砺波暮らし体験施設「佐々木邸」を利用する。（予約は1日1団体）

(最寄りの交通機関・所要時間)

となみ散居村ミュージアム 北陸自動車道砺波 I Cより車で5分 JR 砺波駅からタクシーで5分
砺波市営バス 南部循環線 となみ散居村ミュージアム下車

(応募要件・注意事項)

○参加要件 大学のゼミ教室などを単位とし、先生及び学生などを対象とします。

○申込期限 おおむね実施期間の初日の1か月前までに、指定の参加申込書に必要事項を記入して提出してください。

○費用負担 宿泊者1人・1泊当たり 2,000円（最長6泊7日以内）

○その他 朝食と夕食は原則提供します。また、砺波市などの特色ある施設、場所などへ案内します。

(担当者から一言)

富山県の西部、砺波平野は、加賀百万石を支えた米どころであり、農家が戸一戸散らばる全国でも珍しい農村景観の散居村が今に残っています。家々も全国有数の広さがあり、その伝統的な民家を宿泊場所として提供します。

この宿泊場所をベースに、散居村の歴史や展望台からの圧倒的な景観、砺波といえば「チューリップフェア」に代表される球根栽培、「庄川峡」遊覧など、学びと楽しみが満載の企画があります。

特に、東西日本の中間位置にある砺波地方の方言は、面白い方言学習の場となっています。

「大学生の皆さん、ちょっと、砺波に来られまー。ごっつおだいてあげるし、いーとこ連れてってあげっちゃ。一緒に楽しもまいけ。待っつっちゃ！」この意味は、砺波にお越しになった時にお教えしましょう！

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 となみ散居村ミュージアム 島田
TEL 0763-34-7180 E-mail info@sankyoson.com
URL : <https://sankyoson.com>

